EYECATCH

液晶看板アイキャッチ 動作確認＆注意事項

※ 液晶看板アイキャッチ 42 型でご説明しております。32 型と 55 型は排熱ファンの仕様が異なっております。

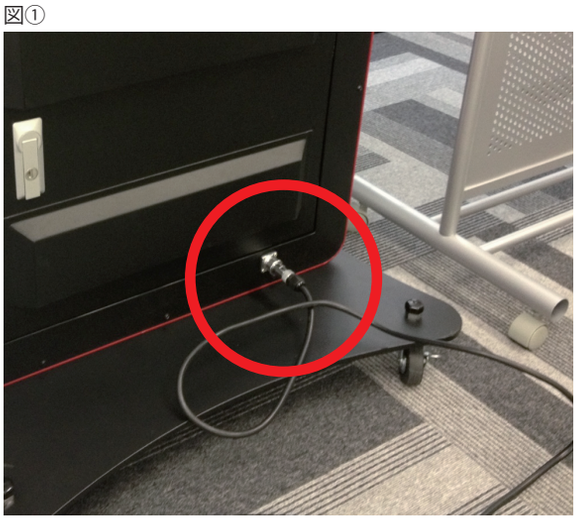
■ 液晶看板アイキャッチのお取扱いについて

① 製品が届きましたら、リモコンと電源ケーブルが付属しているかご確認下さいませ。

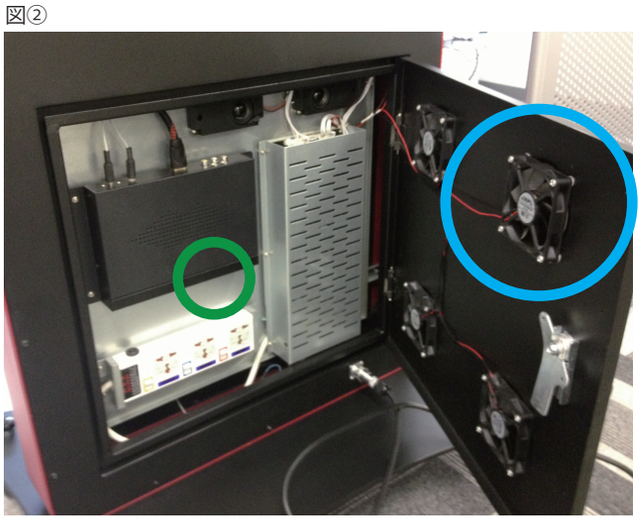
② 電源ケーブルを図①のように取付て下さい。

※ ねじ込み式になりますので、数回ボルトを回して頂き、一番奥まで締めて下さい。

図①



図②



③ 電源ケーブルをコンセントに差し込むと液晶看板が起動致します。

④ 図②はメディアボックスを開けた状態になります。（通常は施錠して頂いて保管頂きますようお願い致します）

※ メディアボックス内は防水構造では御座いませんので、水気等には十分ご注意下さい。保証対象外になります。

※ 開閉の際、青〇部分等に排熱ファンが取付られておりますので、手を挟まないようにご注意下さい。

※ 緑〇は USB メモリー差し込み口になります。（ご納品時には USB メモリーを差した状態でご納品しております）

⑤ 電源ケーブルを差し込みますと電源が「ON」の状態になりますので、USB 内のデータが自動再生されます。
⑥ これで設置＆動作確認終了です。
⑦ 看板の電源を「OFF」にする場合は、必ずリモコンで OFF にして下さい。

電源 ON/OFF について
・電源は背面の電源ケーブルを差し込むと USB 内部の動画コンテンツを自動読込 / 再生を行います。
・電源を OFF にする場合は、リモコンの停止ボタンを押して動画コンテンツが停止したことを確認してから、コンセントを抜くようにしてください。
（液晶看板の破損の原因となりますので、停止前はコンセントの抜き差しをお止め下さいませ）

動画内容変更について
・液晶看板での動画変更は USB メモリーで行って頂きます。再生した動画だけを USB に入れ、液晶看板に差し込んで再生して下さい。
・週ごとにデータを入れ変えたい場合は、USB メモリーを 2 つ用意していると便利です。

■ 液晶看板アイキャッチの注意事項 [電源ケーブル破損について]

電源ケーブルは強く引っ張ったり、第三者の方の足に引っかけてしまったりしてしまいますと、破損の原因となりますので、ご注意下さいませ。
左図のように内部のケーブルが外れてしまい、故障の原因となります。
ケーブル破損より引き起こされる液晶看板の不具合と致しまして次のような現象が多くみられます。「電源がつかない」「動画が再生されるがすぐに電源が切れたり、点いたりする」などです。故障かな？と思った時は販売代理店までご連絡下さい。
※電源ケーブルの交換はご郵送にてお送りしております。
電源ケーブル 3,150 円＋送料＋代金引換手数料を頂戴しております。

■ 液晶看板アイキャッチの注意事項 [キャスター破損について]

1 個のキャスターに対しまして約 40kg までの負荷となっております。
それ以上の負荷を加えますと破損の原因となりますので、ご注意下さいませ。
液晶看板を設置する際に段差などがありましたら、安全を確認し、2 個以上のキャスターで支えて段差を上げて頂きますようお願い致します。
凹凸のある道などを移動される場合は思わぬ負荷がかかりやすくなりますのでご注意。
※キャスターの交換はご郵送にてお送りし、販売代理店もしくはお客様ご自身で取り替え可能です。（キャスター破損は保証対象外）
キャスター 1 個 525 円＋送料＋代金引換手数料を頂戴しております。

■ 液晶看板アイキャッチの注意事項 [その他]

⚠ 弊社以外で制作された動画コンテンツに関しての不具合等はわかりかねますので、
製作元へお問合せ下さい。動画コンテンツの形式は WMV,MP4 を推奨しております。

⚠ 本製品の電源を切る時は、必ずリモコンで電源を OFF にしてから、コンセントを抜いて下さい。
いきなりコンセントを抜いてしまうと、次回の起動時に不具合を起こしかねません。

⚠ 本製品の裏蓋を開ける時は、必ず電源を OFF にしてから開けて下さい。電源が ON の状態で裏蓋を
開けるとファンが回っており、怪我をしてしまう場合が御座います。

⚠ 本製品を運用する際、地震や振動で転倒してしまう恐れが御座います。製品をフックやワイヤーなどで
固定してお使い頂きますと、より安全にご使用可能です。（フック・ワイヤー別途販売）

⚠ 本製品は屋外使用ですが、直射日光を長時間当て続けるとディスプレイ自体に焼けが起こる場合が
御座います、出来る限り直射日光に当てずご使用下さい。焼けに関しては保証規定外となります。
（紫外線保護フィルム別途販売）

⚠ 本製品使用環境が 50° を超えてしまった場合、ディスプレイにブラックアウトが起こる可能性が
御座います。その際は直ちに使用を中止し、直射日光の当たらない場所でしばらく保管してからの、
再使用を行って下さい。

■ 液晶看板アイキャッチの再生フォーマット（標準仕様時）

推奨 | WMV | MP4

動画再生拡張子は「WMV」「MP4」を推奨しております。
AVI,MOV などの再生も可能ですが、出力の際の条件により再生出来ない場合が
御座いますので、予めご了承下さいませ。

■ 液晶看板アイキャッチ破損・盗難について

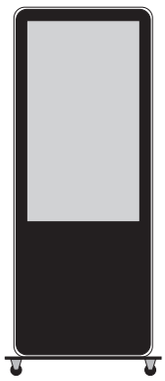
液晶看板アイキャッチが破損もしくは盗難にあった場合は、まわりの安全確認を行って頂き、
ご対応頂きますようお願い致します。
動産保険に加入されている方は破損写真を撮影頂き、販売代理店までご連絡下さい。
盗難の際はお近くの警察署へ連絡頂き、被害届を提出して下さい。（被害届番号が必要になります）
動産保険に加入されていない方は、有料故障修理となりますので、予めご了承頂きますようお願い致します。

■ お届け時の破損について

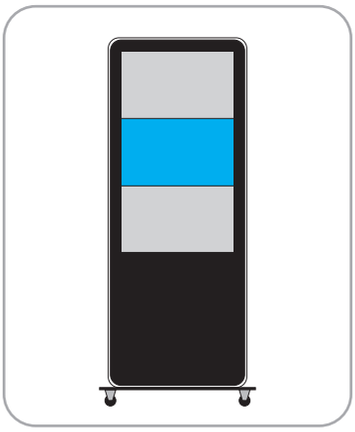
出荷工場では再生テストなどを行い出荷しておりますが、配送の際に破損してしまう場合が御座います。
ご納品の際の開封時にご確認頂きますようお願い致します。（小傷等は保証外となっております）
在庫状況によりすぐに代替え品をお届け出来ない場合が御座いますので、予めご了承下さいませ。

EYECATCH

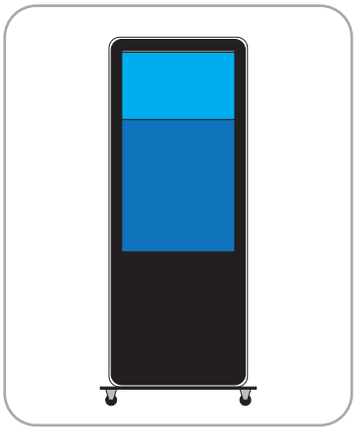
液晶看板アイキャッチ動画制作について



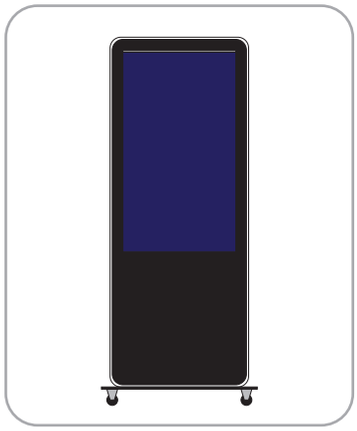
※ 液晶看板アイキャッチシリーズのディスプレイは縦画面での表示となります。
※ 32V：縦 1366px× 横 768px にて表示
42V/42VW/55V/42V 屋内：縦 1920px× 横 1080px
※ 動画コンテンツを作成される場合は、上記の解像度で作成して下さい。
※ すでに CM などがある場合は、横 1920px× 縦 1080px での制作サイズですので、
液晶看板での表示は画面中央部分に表示されるようになります。（参照①）
上下が黒い帯表示となりますので、画面活用の際は上部：動画、下部：静止画のように
動画コンテンツを作りかえて頂く必要が御座います。（参照②）
もともと縦 1920px× 横 1080px で制作した動画や C に関しましては問題御座いません。
（参照③）



参照①



参照②



参照③

動画制作ソフトでの作成・出力時のご注意

動画制作ソフトで制作して頂く場合、ソフトによっては横画面でしか制作出来ない場合が御座います。
その際はパソコンに向かって「左側」が上部にくるように制作をお願い致します。

このまま出力ＯＫ

横向きに回転して
出力して下さい。

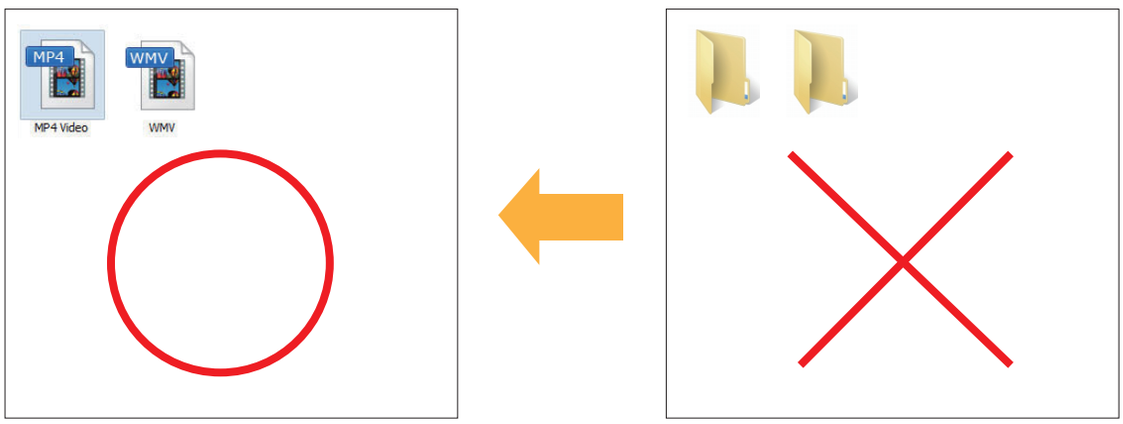
動画出力の際は「左側を上部」にして「WMV,MP4」にて出力して下さい。
縦型のままですと表示されない場合が御座います。

EYECATCH

液晶看板アイキャッチ動画再生について

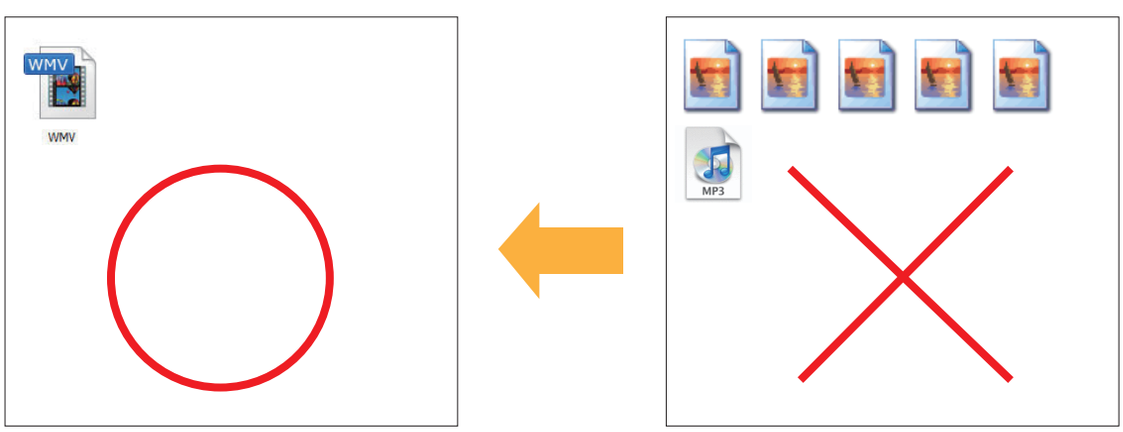
◆ USB メモリーに動画を入れる

① 動画ファイルは USB メモリーの直下に入れて下さい。
※ フォルダを作成して入れて頂いても再生されませんので、ご注意下さい。



◆ 静止画と音楽の混合再生について

USB メモリー内に静止画（JPG）を 5 枚入れ、音楽（MP3）を 1 曲入れての混合再生は出来ません。
1 本の動画（MP4 または WMV）にして USB 内に入れて下さい。



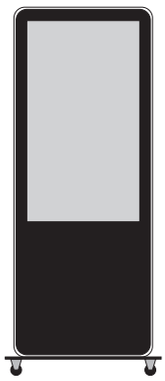
◆ 動画の音楽が再生されない

USB メモリーの読み込みに時間がかかっていたり、読み込みがうまくいかなかった場合に出やすい症状

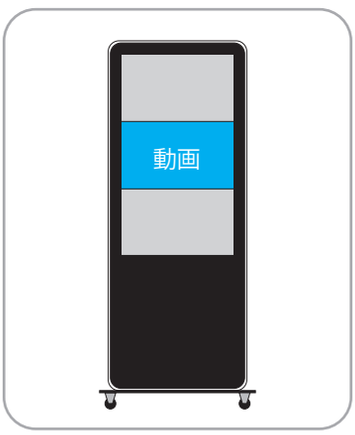
【　対策　】
・電源を OFF にして頂き、電源ケーブルもコンセントから抜いて下さい。
30 秒ぐらいしてから、コンセントを差して頂ければ症状が回復すると思われます。

EYECATCH

液晶看板アイキャッチ動画撮影について



※ 液晶看板アイキャッチシリーズのディスプレイは縦画面での表示となります。
※ 32V：縦 1366px× 横 768px にて表示
42V/42VW/55V/42V 屋内：縦 1920px× 横 1080px
※ 動画コンテンツを作成される場合は、上記の解像度で作成して下さい。
※ すでに CM などがある場合は、横 1920px× 縦 1080px での制作サイズですので、
液晶看板での表示は画面中央部分に表示されるようになります。（参照①）
上下が黒い帯表示となりますので、画面活用の際は上部：動画、下部：静止画のように
動画コンテンツを作りかえて頂く必要が御座います。（参照②）
もともと縦 1920px× 横 1080px で制作した動画や C に関しましては問題御座いません。
（参照③）

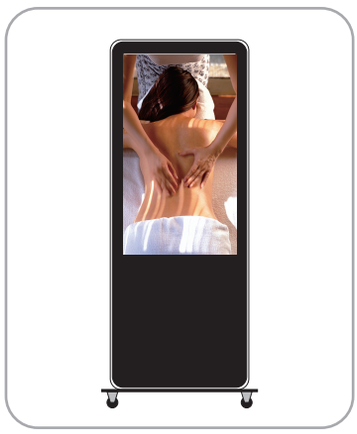


参照①

参照②

参照③

縦型動画撮影について



※ 縦 1920px× 横 1080px 撮影　※ 縦 1080px× 横 1920px 撮影

液晶看板の画面全体に動画コンテンツを再生する場合は縦型での動画撮影が適しております。
ＨＰでは横型の動画コンテンツが再生しやすいと思われます。
横型での動画の場合は、「動画＋静止画」の２つのコンテンツを取り入れ再生する事も可能です。